

パレスチナ、ヨルダン川西岸とガザ地区の現状と未来

ねこづか よしお
講師 猫塚 義夫 医師
サリム・アナティ医師 (Salim Anati, M. D.)

ねこづか よしお
猫塚 義夫 医師

北海道パレスチナ医療奉仕団団長・整形外科医

【講師プロフィール】

札幌生まれ。1973年に札幌医科大学卒業後、北海道勤労者医療協会に入職。以後、米国留学を含め脊椎外科と膝関節外科を中心とする整形外科医として診療と臨床研究を進めてきた。同時に学生時代から抱いてきた社会進歩への志を実践した。障害者へのボランティア活動に始まり、「医療9条の会・北海道」幹事長（現、共同代表）となりつつ、2010年に「北海道パレスチナ医療奉仕団」を立ち上げ、現在に至る。



サリム医師 (Salim Anati, M. D.)

東エルサレム・シュファット
難民キャンプ慈善協会理事長

シュファット難民キャンプ
UNRWA 診療所前所長



猫塚医師より一言

2023年10月7日、ハマスによる「越境攻撃」を口実としたイスラエルによるガザの軍事侵攻は、まもなく2年が経とうとしている。これまで7万人を超す犠牲者と14万人の負傷者を蓄積してきました。瓦礫と化したガザでは、食料や飲料水、医薬品が欠乏し、最近では毎週100名近くの餓死者が出ており、多面的なジェノサイドが進行しています。

一方、イスラエルとアメリカを批判する国際世論は、G7内からも仏、英国、カナダなどが国内外の「ガザ停戦」/パレスチナの国家承認へ動かざるを得なくなるほどガザでのジェノサイドの状況は深刻になっています。

このたび、東エルサレムから来日したサリム・アナティ医師から現地の生の声で報告をいただき、パレスチナの現状と未来を語り合いたいと思います。皆様のご出席を心から願っています。

【日 時】9月25日(木)午後7時～8時30分

【会 場】沖縄県市町村自治会館4階会議室／ZOOM ※ハイブリッド開催

【参加費】無料

■WEB参加申込はQRコード（URL）からお願いします。

■会場参加ご希望の方はFAXでお申込みください。

【FAX 098-894-9589】



会員氏名

医療機関名

※ご不明な点がございましたら協会事務局までご連絡下さい。

沖縄県保険医協会事務局

後援 沖縄県民主医療機関連合会

〒902-0061 那覇市古島2-28-2 佐辺ビル103号

TEL: 098-894-9579 / FAX: 098-894-9589